

# Santiago de Compostela (Spain), Saclay (France) での短期滞在を終えて

物理学専攻 博士2年 橋保貴

平成26年3月16日から23日まで、SpainのUniversidad de Santiago de Compostelaに、3月24日から29日まで、FranceのInstitut de physique thorique de SaclayにALPS海外派遣制度（短期）を利用して滞在した。Universidad de Santiago de Compostelaでは、今回の滞りのホストである、Carlos A. Salgado教授と議論の機会があった。Salgado教授は、相対論的重イオン衝突におけるジェットクエンチングの研究の第一人者であり、最新のジェットクエンチングの描像について様々なことを学ぶことができた。日本にはジェットクエンチングの理論研究を行っている研究者はほぼいないので、これは非常に貴重な経験であった。また、研究グループ内でのセミナーで発表する機会があり自分の現在の研究について紹介をした。Institut de physique thorique de Saclayでも、QCDの研究グループ内でのセミナーで発表する機会があり、現在の自分の研究内容について幅広い研究者の方々から様々な角度からの貴重なコメントを頂いた。また、セミナー以外でも、ホストであるJean-Yves Ollitraultや、ジェットを専門とする研究員やポスドクの方々と議論をする機会があった。今回の短期滞りを通して、現在の分野での研究を行う上での海外での研究活動を行うことの重要性を感じ、さらにそのための英語をはじめとする外国語でのコミュニケーション能力の重要性を認識した。このような機会を提供していただいた、ALPSの皆様、滞りのホストの教授らをはじめとする現地の研究者の方々にこの場を借りて深く感謝いたします。



図1: Universidad de Santiago de Compostela 物理棟内のフーコー振り子 図2: Institut de physique thorique de Saclay